

## 1 知識の体系的習得と深い理解

- 解説文を「理解した！」と実感できるまで繰り返し読み込む
- 重要な概念を仮想的な質問者に対して自分の言葉で説明できるように練習
- 特に数学や統計学に苦手意識がある場合は、この分野に特化した章を時間をかけて勉強することが推奨

## 2 徹底的な問題演習によるアウトプット訓練

- 厳しい時間制限に対応するため、練習問題を徹底的に解く「アウトプット」の訓練が非常に重要
- 付属の模擬試験や参考書の類似問題を解き、本番試験の構成と難易度に慣れることが効果的
- 問題を解いた後は、解説文を誤選択肢も含めて必ず熟読し、なぜその解答になるのか、関連知識は何かを徹底的に復習

## 3 シラバス変更への対応と効率的な学習

- スキルチェックリストver.5で追加された項目を新旧シラバスで比較し、頻出・重要分野を把握
- 限られた時間の中で効率的に学習するため、「試験で問われやすい知識」や「データ活用の実務に重要な知識」を中心に学習
- 公式リファレンスブックに加え、統計学や数学に特化した参考書、信頼できるウェブ情報源も積極的に活用